



▲

2020年（令和2年）2月18日

第一東京弁護士会会員 各位

日弁連会長選挙再投票にあたって

第一東京弁護士会呼びかけ人有志

中川了滋	梶谷 剛	軍司育雄	東谷隆夫	島田一彦
原 壽	元木 徹	横溝高至	角山一俊	斎藤祐一
三木祥史	上柳敏郎	小田修司	楯香津美	澤野正明
外井浩志	飛田秀成	西村泰夫	山本光太郎	八木清文
池内稚利	梅林 啓	大澤英雄	千代田有子	井上裕明
中西哲男				

ご承知いただいておりますとおり、日弁連会長選挙は再投票となりました（再投票日3月11日）。

当会は、長年にわたり、東弁、二弁とともに、弁護士会に生じる様々な課題を相互の利害を超えて建設的に協議をし、解決し、連携を保持してきました。日弁連の会務運営についても、東弁、二弁とともに一丸となって、英知を出し合って執行部を支え、当会及び日弁連の社会的評価も築き上げてきました。かかる歴史の下、東京三会には、相互に強い信頼関係・絆があります。

この度の日弁連会長選挙にあたっては、東京三会及び大阪弁護士会以外の弁護士会所属の会員から日弁連の会長を輩出する意義も考慮する必要があろうかとは思いますが、二弁の会員が団結して長年にわたる悲願を達成しようとし、当会にも要請してきてることを重要視すべきではないかと思います。

当会は、2022年度（令和4年度）創立100周年を迎えます。この度の日弁連会長選挙にあたっては、日弁連の将来はもちろんのことですが、特に当会の将来を考える必要があります。長い歴史を経て築いてきた東弁、二弁、ひいては大阪弁護士会の多数の会員との信頼関係をより強固なものとし、引き続きこれらの先生方に日弁連の会務運営に尽力していただき、当会がこうした先生方とともに日弁連の会務運営の中核を担っていくことが肝要と思い、第一東京弁護士会の会員各位に対し、あらためて慎重、冷静な選択と行動を呼びかけさせていただく次第です。

（文責 横溝高至、上柳敏郎）